

「京都駅東部エリア活性化将来構想(案)」

に関する御意見を募集します！

京都駅東部エリアは、世界と京都をつなぐ玄関口・京都駅の周辺から鴨川の東側にある三十三間堂や京都国立博物館などに代表される、東山の文化エリアへと続いており、近年、京都美術工芸大学京都東山キャンパスが開校され、平成35年度に京都市立芸術大学や市立銅駝美術工芸高等学校の移転が予定されるなど、文化芸術に関連する多くの資源が集積するエリアです。

京都市では、京都駅東部エリアにおいて、文化芸術を基軸とした「まちづくり」を進めることにより、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生し、京都全体の活性化につなげるため、将来像やまちづくりの方向性等を盛り込んだ将来構想の策定に取り組んでいます。

この度、地域の方や学識経験者等で構成する「京都駅東部エリア活性化将来構想検討委員会」での審議を踏まえ、将来構想の案を取りまとめましたので、市民の皆様からの御意見を募集します。

※ このパンフレットは概要版です。「京都駅東部エリア活性化将来構想(案)」の全文は、京都市情報館(京都市ホームページ)の市民意見のページで御確認いただけます。

(URL : <http://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/sogo/0000246469.html>)

【募集期間】

平成**31**年**1**月**29**日(火)～平成**31**年**3**月**1**日(金)《必着》

【御意見の提出方法】

御意見は、郵送、FAX、電子メール、京都市情報館(京都市ホームページ)内の送信フォーム、持参のいずれかの方法により提出してください。

【送付先及び問合せ先】

〒604-8571 (住所の記入は不要)

京都市総合企画局プロジェクト推進室

電話 075-222-3176 FAX 075-213-0443

電子メール project@city.kyoto.lg.jp

皆様からの
たくさんの御意見を
お待ちしております！



パブコメくん

I 構想策定について

1 構想策定の背景と目的

京都駅東部エリア（以下「本エリア」といいます。）は、世界と京都をつなぐ玄関口・京都駅北側周辺から、鴨川の東側にある三十三間堂、京都国立博物館など東山の文化ゾーンへと続く地域です。

本エリアには、梅小路公園を中心とする「京都駅西部エリア」と京都駅、東山とを結び、交流や賑わいの創出が期待される東西の「新たな文化軸」と、鴨川、高瀬川といった南北の「悠久の自然・文化軸」の二つの軸が交差する、いわば「文化の十字路口」が存在します。近年、京都美術工芸大学京都東山キャンパスが開校され、今後も京都市立芸術大学や京都市立銅駝美術工芸高等学校の移転が予定されるなど、文化芸術の新しい動きが生まれる“火床”となる場所であり、国内外から多くの人々が集まり、交流し、世界へ広がる創造の一大拠点となることが期待されます。

本エリアでは、これまでから、地域性、歴史性を大切にした地域を主体とするまちづくりが連綿と培われてきています。なかでも、下京涉成小学校区の5学区では、京都市立芸術大学の移転までのプロセスを大切にしながら、「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」の構築に取り組みされており、京都の玄関口にふさわしい個性豊かで魅力的なまちづくりが進められています。

また、周辺地域に関して、京都市では、平成27年3月に「京都駅西部エリア活性化将来構想」、平成29年3月に「京都駅東南部エリア活性化方針」をすでに策定しています。とりわけ、京都駅東南部エリアは、本エリアと鴨川、高瀬川などの南北軸で繋がり、京都市立芸術大学移転予定地に近接していることなどから、「文化芸術」と「若者」に重点を置いた新たなまちづくりを進めているところです。

京都市は、市会の議決を得て、昭和53年10月に「世界文化自由都市宣言」を行いました。以来、この宣言を都市理念に掲げ、「広く世界と文化的に交わることによって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市」の実現に向けて、都市経営を進めてきました。

文化庁の京都への全面的な移転が決定されるなど、文化芸術によるまちづくりの機運が高まる中、本エリアの様々な主体が将来ビジョンを共有し、京都駅周辺エリアの多層な機能の連携により、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生するため、「京都駅東部エリア活性化将来構想」を策定するものです。

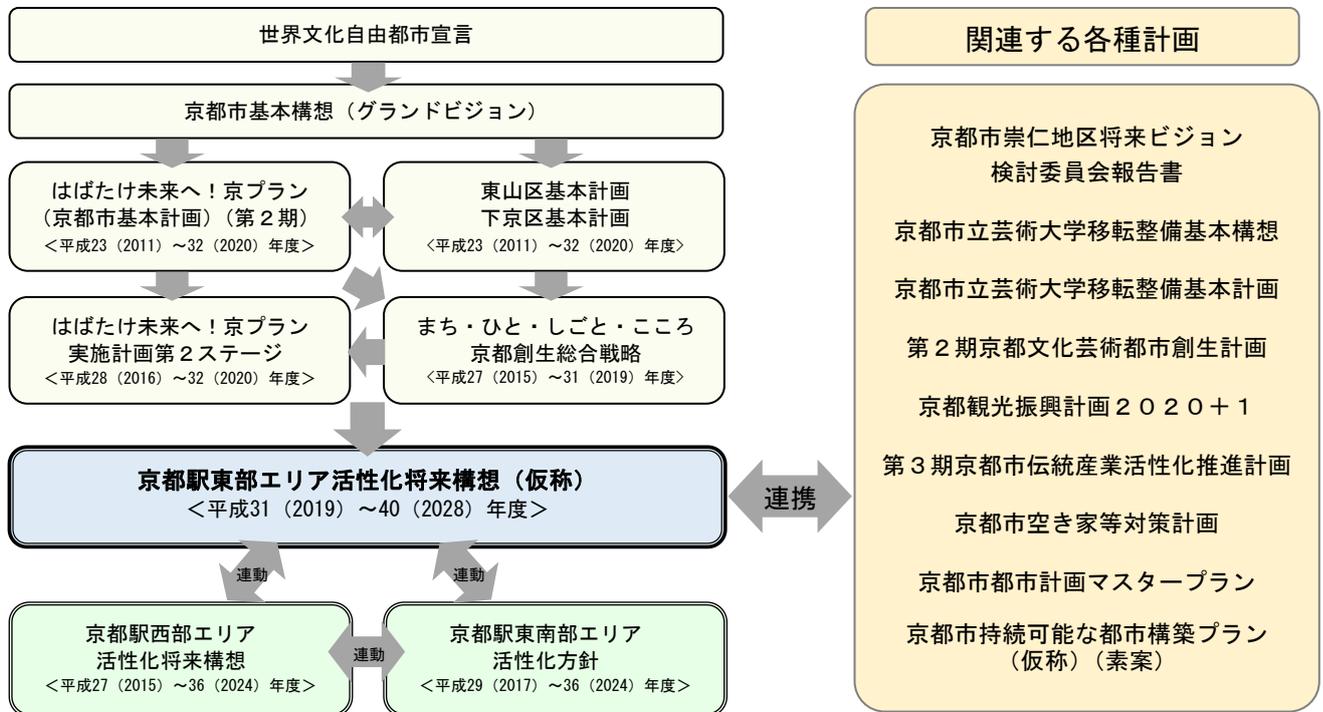
2 構想策定の基本事項

① 期間

長期的な見地に立った将来ビジョンと目指すべき将来像を設定し、それらの実現に向けて、おおよそ今後10年間（平成31（2019）～40（2028）年度）で取り組むべき3つの方策と具体的な推進項目を取りまとめました。

なお、平成35年度（2023年度）の京都市立芸術大学の移転や京都駅東南部エリア活性化方針（平成29（2017）～36（2024）年度）など、京都駅周辺の各種構想等との関連性を考慮し、必要に応じて、見直しを検討します。

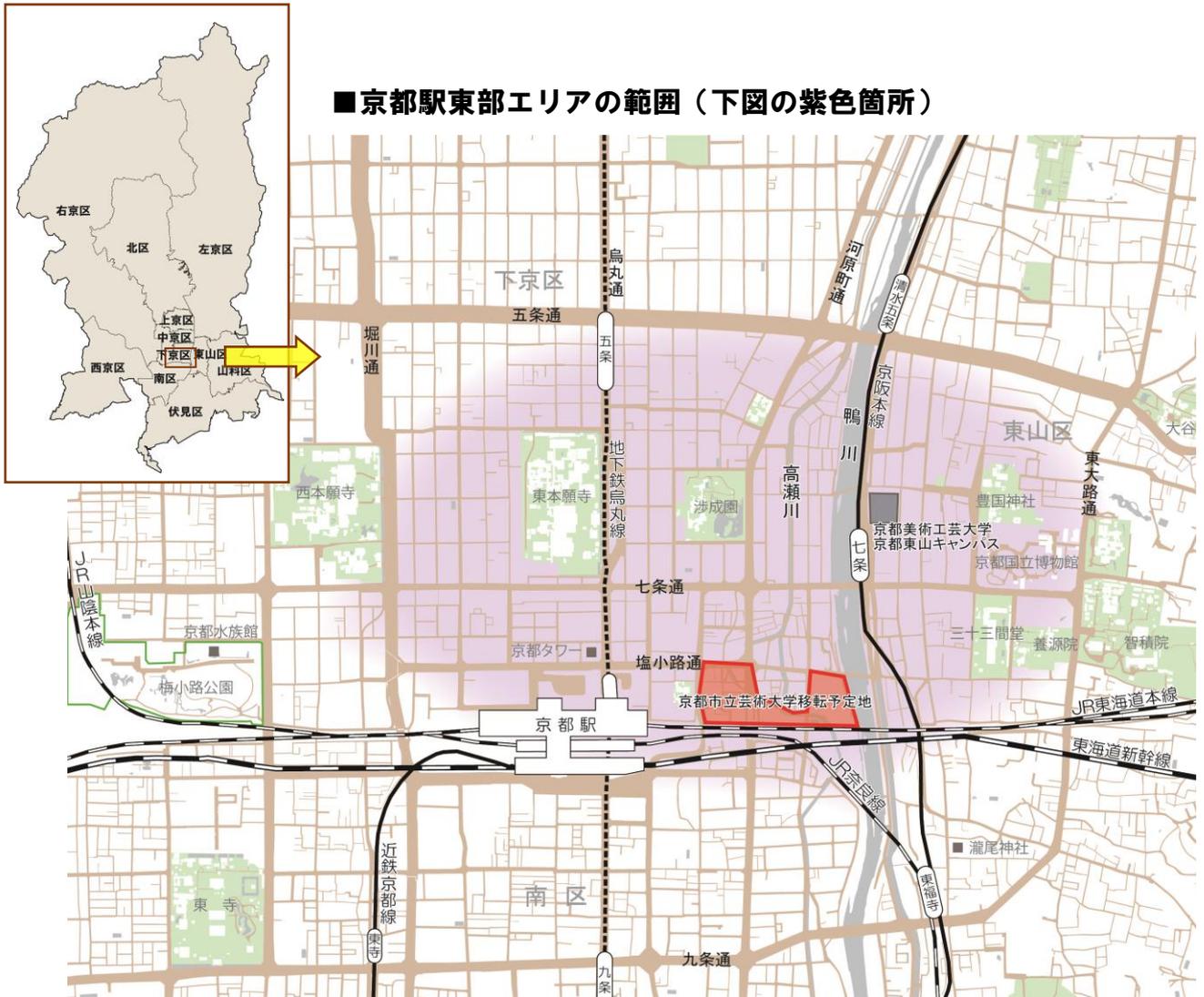
■構想の位置付けイメージ



② 対象エリア

「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」の構築に取り組む下京渉成小学校区の5学区（植柳，稚松，菊浜，皆山及び崇仁学区）を中心に、鴨川の東側にある「京都国立博物館」や「三十三間堂」などに続くエリア一帯【概ね次頁図の紫色の範囲】を「京都駅東部エリア」と位置付け、対象エリアとしました。

■京都駅東部エリアの範囲（下図の紫色箇所）



③ 策定にあたっての基本的な考え方

- 文化芸術と産業，観光，大学，まちづくり，教育，福祉など，様々な分野との有機的な連携を図り，京都駅西部エリア，東南部エリアなど，京都駅周辺エリアのまちづくりとも連動させながら，「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生し，持続可能なまちづくりや新たな魅力，経済的価値の創出により，京都全体の活性化を牽引する。
- 多様な，多世代の人々が交流することにより，豊かなコミュニティにつながるまちづくりを推進する。
- 市民，地域，大学，事業者など，様々な主体が，まちの将来ビジョンを共有し，各自が，相互に尊重し合いながら，「じぶんごと」「みんなごと」としてビジョンの実現に取り組む。

II 本エリアのポテンシャルと課題

人口・高齢化・コミュニティ

ポテンシャル

- エリアの一部において人口増加
- 崇仁学区における市有地の活用
- 地域が主体となったコミュニティ活動
- 芸術系大学と地域との交流や協働によるまちづくり

課題

- 人口減少，高齢化の進展への対応
- 崇仁学区の将来活用地の活用の検討
- まちづくり活動と地域コミュニティの更なる活性化
- 空き家への対策

集客・観光・地域資源

ポテンシャル

- 魅力的な歴史・文化資源や潤い資源などの存在
- 「崇仁新町」など新しい賑わい創出の動き
- 京都駅周辺における商業機能の集積
- 京都駅と市内観光地等への充実した交通網

課題

- 回遊性の向上や賑わいの創出
- 観光と市民生活との調和

文化芸術

ポテンシャル

- 芸術系大学や文化芸術に関連する施設等の存在
- 文化芸術や伝統産業など，様々な分野の担い手の存在
- 芸術系大学の立地によるその周辺の都市景観の向上
- 京都駅西部エリア・京都駅東南部エリアとの連携

課題

- 文化芸術や伝統産業など，様々な分野の担い手が活躍できる環境整備
- 文化芸術活動の情報発信と交流の促進

III 京都駅東部エリアの将来ビジョン

京都市立芸術大学の移転などを契機として、文化芸術を創造し、国際的に様々な人が集い、交流し、まちが賑わい、世界に発信する、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生し、過去、現在の時間を紡ぎ、新しいまちの未来を拓くため、本エリアの将来ビジョンを掲げます。

■京都駅東部エリアの目指すべき将来ビジョン及び将来像

●将来ビジョン

「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生し、
人と人、人と地域がつながるまち

●将来像

子ども・若者から高齢者まで、
安心・安全に暮らし、
誰もが集い、交流し、
活力のあるまち

京都の玄関口・京都駅及び
その周辺と東山の文化エリア
を結ぶ立地にふさわしい、
賑わいのあるまち

京都はもとより、
国内、世界の文化芸術をつなぐ
拠点となるまち

Ⅳ 将来ビジョンを実現させるための方策

1 3つの方策

将来ビジョンを実現するため、3つの方策を推進します。

構想の全体像

将来ビジョン

「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生し、
人と人、人と地域がつながるまち

3つの将来像（まちの姿）

将来像1

子ども・若者から
高齢者まで、
安心・安全に暮らし、
誰もが集い、交流し、
活力のあるまち

将来像2

京都の玄関口・京都駅
及び
その周辺と東山の
文化エリアを結ぶ
立地にふさわしい、
賑わいのあるまち

将来像3

京都はもとより、
国内、世界の
文化芸術をつなぐ
拠点となるまち

3つの方策

【方策1】

多様な人が交流し、
多様な価値観が尊重
される豊かなコミュニ
ティの実現

【方策2】

京都駅と東山の文化
エリアを結ぶ立地特性
を活かした新たな賑わ
いの誘導

【方策3】

教育、研究、交流に
よる「人づくり」をはじ
めとする、文化芸術を
創造・発展させ、次世
代に継承するための
環境整備

推進項目

推進項目①～⑦

推進項目⑧～⑭

推進項目⑮～⑳

2 推進項目

方策 1

多様な人が交流し、多様な価値観が尊重される豊かなコミュニティの実現

誰もが文化芸術を創造し、享受することができる環境づくりなどのまちづくりを推進することにより、本エリアへの定住を促進するとともに、まちづくりの担い手の育成を支援します。

また、住民同士や住民と学生、訪れる方との交流を促し、相互理解を深めることにより、安心・安全で豊かなコミュニティの実現を目指します。

推進項目 ① 誰もが文化芸術活動に参画できる環境の推進

子どもから高齢者、障害のある方まで誰もが文化芸術活動に参画することができるよう、教育、福祉その他の分野とも連携した体験型イベントの開催など、アウトリーチ活動*を推進します。

また、誰もが文化芸術を学び、制作し、発表することができる場づくりや文化ボランティアの参加の促進など、文化芸術を創造し、支える環境の充実を図ります。

* 出前授業、出張講座等、利用者のもとへ出向いて実施する様々な教育普及活動のこと

- 【取組例】
- 大学と地域との協働による文化芸術活動の推進
 - 子どもたちが文化芸術や伝統産業に触れ、学び、体験する機会の提供
 - 文化ボランティア活動の推進

推進項目 ② 地域資源や自然環境を保全・活用したまちづくりの推進

地域資源や自然環境を保全・活用するまちづくり活動を推進します。

また、地域性、歴史性を持った、芸術的、学術的価値の高い文化財の継承、活用を通じて、地域への愛着、誇りを高めるまちづくりを促進します。

- 【取組例】
- 高瀬川とまちづくり活動
 - 七条大橋の魅力を高めるまちづくり活動

推進項目 ③ 芸術資源や地域情報の収集・保存・活用

芸術資源、地域情報等のデジタルアーカイブ化を支援し、教育研究分野や地域の担い手育成など幅広い活用に向けた取組を推進します。

- 【取組例】
- 芸術資源等のデジタルアーカイブ化の推進

推進項目 ④ 交流スペースとしての公共空間の活用

鴨川、高瀬川や歩道、京都市立芸術大学敷地内の広場など、公共空間を活用して、住民、学生をはじめ、多様な人の交流する場を創出します。

【取組例】 ●京都市立芸術大学敷地内の広場の利用

推進項目 ⑤ 子育て世帯等の市営住宅入居促進

人口減少や高齢化の進展に対応し、地域の活性化を図るため、子育て世帯の市営住宅の入居を促進します。

また、市営住宅の空き部屋を若手芸術家の制作、居住の場として活用します。

推進項目 ⑥ 空き家対策の推進

安心・安全な生活環境の確保、まちづくり活動の促進、良好な景観の保全及び地域コミュニティの活性化のため、空き家の発生の予防や活用・流通を促進します。

また、若手芸術家などの居住・制作・発表の場としての空き家や空き店舗の活用を推進します。

【取組例】 ●京都市地域連携型空き家対策促進事業の推進

推進項目 ⑦ 住宅関連事業の推進と将来活用地の活用

崇仁学区において、住宅地区改良事業などの早期完了を目指して取組を進め、これらの事業で生み出される将来活用地の活用のあり方を検討します。検討を通じて、住み続けられ、共に暮らすまちづくりの推進と「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンの創生にふさわしい、新たな創造・交流・賑わいにつながる機能の導入を目指します。

【導入する機能の方向性】

京都市では、広く世界と文化的に交わることにより、優れた文化を創造し続ける、永久に新しい文化都市としてのまちづくりを進めています。

崇仁学区において創出する将来活用地は、京都の都心部では極めて希少な活用可能用地です。また、その活用にあたって、世界と京都をつなぐ玄関口・京都駅との近接性や京都市立芸術大学の移転整備、京都駅東南部エリアとの結節点などの立地条件やポテンシャルを最大限に活かす必要があります。

そのため、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンの創生に向けて、文化芸術と産業、観光、大学、まちづくり、教育、福祉など、様々な分野の融合により、新たな魅力や経済的価値を創出する機能を誘導するための検討を進めます。

併せて、人口減少や少子高齢化にも対応し、地域で暮らす誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進するため、生活を支える商業・医療・福祉・業務などの機能の充実に向けて、活用を検討します。

方策2

京都駅と東山の文化エリアを結ぶ立地特性を活かした新たな賑わいの誘導

京都駅から東山の文化エリアや市内中心部を結ぶ本エリアの利便性の高い立地特性を活かし、本エリアの地域資源と文化芸術を融合させた賑わいの誘導など、文化芸術・伝統産業の振興に資する新たな魅力や賑わいの創出に取り組むことにより、本エリアや、隣接する京都駅西部エリア、東南部エリアをはじめ、京都駅周辺ひいては京都全体の活性化に寄与します。

また、文化芸術と観光をはじめとする関連分野とを連携させることにより、経済的な価値を創出し、持続的な文化芸術の発展と経済成長の好循環を生み出します。

推進項目 ⑧ 新たな賑わいの創出と商店街及び周辺地域の活性化

芸術系大学の学生のアイデアなどにより、地域のまちづくりや商店街と、文化芸術を連携、融合させた新たな賑わいづくりを推進するなど、商店街及び周辺地域の活性化を図ります。

【取組例】 ● 崇仁北部第四住宅地区改良事業用地の暫定活用による新たな賑わいづくり

推進項目 ⑨ 歴史的・文化的建造物等の活用

会議やレセプションなど、様々な機会を通じて、美術館や博物館、歴史的建造物などを、“京都らしい”ユニークベニュー*として活用していくことを推進します。

* 歴史的建造物や文化施設、公的空間等において、会議・レセプションを開催することにより、特別感や地域特性を演出できる会場

【取組例】 ● 京都国立博物館



※出典 「京都ユニークベニューガイド2018」(発行：公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー)

推進項目 ⑩ 文化財等の活用による観光振興

寺社や施設等における朝の体験型メニューの充実や夜間開館など、新たな観光コンテンツの開発や積極的な情報発信に取り組めます。

推進項目 ⑪ 京都の文化に触れる機会の充実

修学旅行生や外国人観光客に対して、伝統産業や食文化などの体験型メニューの充実を図ります。

【取組例】 ● 京都工房コンシェルジュ事業

推進項目 ⑫ 文化芸術に関するイノベーションの創出や伝統産業の振興

文化芸術と産業技術の研究機能を融合し、新たな技術・商品開発等、文化芸術に関するイノベーションや伝統産業の振興を促進します。

また、文化芸術作品等の制作に係る資材等のリサイクルの仕組みを検討します。

推進項目 ⑬ 文化芸術を“五感”で感じながら、安心・安全で楽しく回遊できる環境づくり

沿道のギャラリーや潤いを感じられる歩行空間など、訪れる人が歩きながら文化芸術を“五感”で感じることでできる魅力あふれる空間を創出します。

また、便利に移動できるよう多様な移動手段を活用することにより、更なる利便性の向上に努めます。

【取組例】 ● 塩小路通沿いにおける京都市立芸術大学のギャラリーの設置

京都市立芸術大学・京都市立銅駝美術工芸高等学校基本設計イメージパース



- 京都市立芸術大学周辺における歩道の拡幅等
- シェアサイクル機能の充実

推進項目 ⑭ (推進項目⑦再掲) 住宅関連事業の推進と将来活用地の活用

方策3

教育、研究、交流による「人づくり」をはじめとする、文化芸術を創造・発展させ、次世代に継承するための環境整備

芸術系大学をはじめ、多彩で魅力的な文化芸術資源が集積し、京都における文化芸術の創造と継承の土台となる「人づくり」を担う本エリアのポテンシャルを活かし、教育、研究機能の充実や、更なる世界との交流や発信を推進し、「文化首都・京都」の都市格向上を力強く牽引します。

推進項目 ⑮ 多様な創造活動拠点としての世界に向けた発信

京都市立芸術大学を核に、国内外の教育・研究機関や担い手を受け入れ、学術、研究、交流が活発化することで、世界に向けた発信力を高めます。

推進項目 ⑯ 文化芸術活動を活かした国際交流の促進

世界中の芸術家が京都に集い、共同で制作したり、発表できる場を創出することにより、市民や国内外から訪れる方との国際的な交流を推進します。

推進項目 ⑰ 文化芸術・伝統産業など様々な分野における多様な担い手の育成

芸術系大学の学生をはじめ、若手芸術家、若きクリエイターや伝統工芸の職人など、多様な担い手を、地域や芸術系大学、事業者、行政等が協力して育成・支援します。

【取組例】●東山アーティスト・プレイスメント・サービス(HAPS)による若手芸術家等の支援

推進項目 ⑱ 先進的な研究・創造活動に取り組む場の創出

文化芸術を核に、科学・医療・福祉・産業技術など、ジャンルを越えた交流や協働の機会を創出します。

推進項目 ⑲ 文化芸術の発信の場としての公共空間の活用

芸術系大学周辺の歩道、鴨川・高瀬川や駅周辺など、公共空間を文化芸術作品の展示、演奏やパフォーマンス等の発信の場として活用します。

推進項目 ⑳ 芸術系大学と施設の連携による文化芸術の振興

芸術系大学と文化芸術関連施設が連携し、文化芸術の振興を推進します。

【取組例】 ● 共通のテーマを持った展覧会の開催

推進項目 ㉑ 京都市立芸術大学・京都市立銅駝美術工芸高等学校の移転整備に伴う都市景観の向上

施設の形状、色彩、デザイン、外観など、移転整備により、鴨川・高瀬川をはじめ、周囲の景観と調和した都市景観を創出します。

【取組例】 ● 京都市立芸術大学・京都市立銅駝美術工芸高等学校の移転整備

京都市立芸術大学・京都市立銅駝美術工芸高等学校基本設計イメージパース



推進項目 ㉒ 京都駅東部エリアにふさわしい施設の誘導

本エリアを含む京都駅周辺エリアは、「京都市持続可能な都市構築プラン（仮称）」（素案）において、京都の都市活力を牽引する「広域拠点エリア」に位置付け、京都駅の周辺で新たなまちづくりが進む地域では、文化芸術に重点を置いたまちづくりが更に進み、若者や多様な人が集い、暮らし、学び、働き、交流することにより、人々を惹きつけているとの将来像を掲げています。

また、七条駅周辺を、定住人口の求心力となる「地域中核拠点エリア」に位置付けるとともに、京都を代表する文化施設や大学、観光資源などに近接する拠点としています。

こうした位置付けを踏まえ、本エリアにふさわしい施設の誘導を検討します。

推進項目 ㉓ 文化庁と連携した文化芸術の発信

文化庁と連携し、京都の文化や芸術、文化財、伝統文化など、「文化首都・京都」の多様な魅力を発信します。

推進項目 ㉔ （推進項目⑦再掲）住宅関連事業の推進と将来活用地の活用

V 構想実現に向けて

1 多様な主体による将来ビジョンの共有

構想の実現に向けて、本エリアの市民、地域、大学、事業者など、様々な、多くの主体が、構想に示されたまちの将来像を共有し、今後、大きく変容するまちの姿をイメージしながら、共に活性化に取り組みます。

また、本エリアの活性化の核となる京都市立芸術大学の移転が構想の期間中に予定されています。移転までの間と移転後のそれぞれの期間において、できることから、活性化の取組を進めます。

2 多様な主体の連携によるまちづくり

各方策の推進にあたり、行政のみならず、市民、地域、大学、事業者など、様々な主体が携わることにより、例えば、空き家への対策において、空き家の活用が、地域の防災・防犯の向上や、若者の定住促進とまちづくりの担い手育成、さらには若手芸術家の創造環境づくりにもつながっていくなど、本エリアの活性化に大きな効果が期待できます。

そのため、京都ならではの地域力・市民力を活かし、より多くの多様な主体が、「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」をはじめ、緩やかな連携・協働によるまちづくりを推進する団体に参画するなど、連携して活性化に取り組みます。

3 構想の実現に向けたプロセス

芸術系大学の学生や若手芸術家、若きクリエイターなど、多様な担い手が、身近な場所において、文化芸術とまちづくりを融合させた創造的な活動を行うことができるよう、地域や芸術系大学、事業者、行政等は協力してこれらの活動やその環境づくりを支援します。

まちに小さな変化を生み出し、そのプロセスや成果を大切に積み重ねていくことにより、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンの創生を目指します。

「京都駅東部エリア活性化将来構想（案）」 についての御意見

募集期間：平成31年1月29日（火）～平成31年3月1日（金）《必着》

1 応募方法

郵送，FAX，電子メール，京都市情報館（京都市ホームページ）内の送信フォーム，持参のいずれかで「京都市 総合企画局 プロジェクト推進室」まで御応募ください。
様式は問いませんが，次ページを応募様式として使用することができます。

2 応募・問い合わせ先

〒604-8571（住所の記入は不要）

京都市総合企画局プロジェクト推進室（京都市役所北庁舎1階）

【電話】075-222-3176 【FAX】075-213-0443

【電子メール】project@city.kyoto.lg.jp 【送信フォーム】下記4のURLを参照

3 御意見の取扱いについて

意見募集の結果は，後日，京都市情報館（京都市ホームページ）においてお知らせする予定です。御意見に対する個別の回答はいたしませんので，あらかじめ御了承ください。

なお，この意見募集で収集した情報は，「京都市個人情報保護条例」に基づいて適切に取り扱い，他の目的に利用することは一切ありません。

4 その他

このパンフレット及び「京都駅東部エリア活性化将来構想（案）」の全文は，京都市情報館（京都市ホームページ）の市民意見のページで御確認いただけます。

＜アクセス方法＞

【京都市情報館】→【市政情報】→【市民参加】→【市民意見（パブリックコメント）】
→【「京都駅東部エリア活性化将来構想（案）」に関する市民意見の募集について】

URL：<http://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/sogo/0000246469.html>

「京都駅東部エリア活性化将来構想（案）」 についての御意見

※ 詳しい応募方法については、前ページをご確認ください。

募集期間：平成31年1月29日（火）～平成31年3月1日（金）《必着》

FAX等で送付いただく場合は、この用紙をお使いください。

【FAX：075-213-0443 京都市総合企画局プロジェクト推進室】

それぞれに○をつけてください。京都市内に在住・通勤・通学の方は区もお答えください。

【年代】 20歳未満 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代

60歳代 70歳代 80歳以上

【性別】 男性・女性

【お住まい等】京都市内に在住（ 区）・京都市内に通勤・通学（ 区）・それ以外

※御意見をまとめる際の参考にします。差し支えない範囲で御記入ください。

御意見記入欄



この印刷物が不用になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！



発行：京都市総合企画局
プロジェクト推進室
平成31年1月
京都市印刷物 第303190号